

この原稿を書き始めようとして、テレビを消そうとしたら「地球イチバン幸せな国ブータン、何それ!! 97%が幸せ!」が始まりました。幸せ97%とは経済的な欲張りを持たないことです。仮に欲張ったものが手に入ってもそれは一時的な満足であって、欲望とは限りないものですから幸せは続かないのです。

幸せとは家族や友人たちがいつも近くにいる、助け合い、分かち合い、共に生きていく安心感が本当の幸せを与えてくれているのですとドキュメンタリーは続いておりました。

昔から経済が栄えて文化が生まれない国はやがて亡ぶと言われて参りました。企業経営も全く同じだと思います。藤原正彦が日本には春夏秋冬と言う素晴らしい四季があり、花見があり、紅葉狩りあり、ホタルを追い、虫の音を聞く感受性は世界に類例のないものです。この情緒感が日本人に素晴らしい感性と知恵を与えてくれたのです。今日本人は市場経済によってこの貴重なものを失ってはならないと力説されております。

今年はいつもの年より遅れて三寒四温の日が続き、桜の開花が心配されましたが今朝(22日)高知県では全国で一番早い開花があり、例年より一日早い開花と報じられております。

先日広報きみつに、小櫃山本地先の船塚山は標高151メートル、樹齢百年を越す市の保存指定の山桜の大樹があり、ちば眺望百選に選ばれているとあり、前田専務と二人で確かめて参りました。つづら折りの細い山道を登って頂上へ着きますと、そこには広い旧草競馬場跡があり大木の横に新しい若桜の木が補植され、ミツバツツジも植栽されており、これから花の時期が楽しみな予感がいっぱいです。船塚神社参道の河津桜は満開を過ぎておりましたが、種類はわかりませんでした。次の開花を待つ桜達は蕾をふくらませておりました。船塚神社の神木ヤマザクラの満開は是非大勢の市民に観桜する機会を作りたいものです。万葉の里を見る様な眺望台には春の桜、夏の涼風、秋の七草紅葉と書かれておりました。晴れた日には西方に富士がよく見えますと古老が教えてくれました。途中何組かの方と出会いましたが往復凡そ4Kmの行程は山歩き、散歩には好適だと思われ、山歩きをす友人に電話をすると、今日下見に行ってきたので、4月は大勢で小櫃公民館から往復7Kmを歩きますとの返事でした。

船塚神社の西方に古い参道?と見られる両側には百基以上の石碑(板碑)が並び、歴史的な景観に大変興味をひかれたが、山に夕暮れが迫ってきたので次の機会にと下山しました。

花見の折には是非一見されて下さい。三舟山ウォークが大成功しております。船塚山も地元の方々が随分丹精されてこられた折角の小櫃の名所です。もっと市民に親んでもらいたいものです。亀山濃溝の滝に陶芸をされる方達が妙見様の使いとして亀を放ったら千葉日報から取り上げられ、今月末にはNHKが取材と聞いております。

24日の久留里の楽市楽座はよいお天気で、大成功であります様にと祈りながらこの原稿を終わります。

船塚山へは是非お出かけください。

「さまざまの事 思い出す桜かな・・・」芭蕉

